

第13回防水シンポジウム

「建築防水分野における新たな取り組み」

雨水・地下水を建物内に浸入させないことは建築物が具備すべき最も基本的な機能であり、これを実現する防水材料・工法は、社会からの要求の変化と連動して進化するものである。昨今では、地球環境の保全、建築物の長寿命化、レジリエント建築などは特に重要な課題となっている。

第13回防水シンポジウムでは、過去と同様、防水工事運営委員会傘下の委員会の最新の活動成果を公開し、会員からの意見・要望等を今後の委員会活動に反映させることを目的とし開催するものである。

主 催： 日本建築学会 材料施工委員会 防水工事運営委員会
日 時： 2026 年 11 月 13 日（金） 13:00 ～ 17:30（予定）
会 場： 建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

プログラム

(1)趣旨説明	竹本 喜昭 (防水工事運営委員会/主査)	13:00～13:05
(2)陸屋根防水における設備基礎設置の考え方と現状の課題		
1) はじめに	奥石 直幸 (早稲田大学理工学術院)	
2) 設備基礎設置の考え方		
2.1) 設計事務所側から見た考え方	奥石 直幸 (前掲)	
2.2) ゼネコン側から見た考え方	山宮 輝夫	
2.3) 設備側から見た考え方	澤西 良三 (ヘルテック)	13:05～13:55
3) 施工実態を踏まえた防水材料メーカー ・防水工事施工業者の見解		
3.1) アスファルト系防水	関根 治之 (田島ルフィング)	
3.2) 合成高分子系シート防水	山部 亮一 (アキマテ)	
3.3) 塗膜防水	松野 直樹 (MU マックス)	
4) まとめ	横堀 龍司 (日新工業)	
(3) 防水材料の長期耐久性評価・屋外暴露試験経過報告	竹本 喜昭 (清水建設)	13:55～14:35
(4) シーリング材性能設計法の取り組み		
1) はじめに	添田 智美 (フジタ)	14:35～15:15
2) 1 成分形シーリング材の耐硬化途上ムーブメント性評価	塚越 雅幸 (福岡大学)	
<休憩 15分>		15:15～15:30
(5) 既存防水層耐風性評価・活動報告	石原 沙織 (千葉工業大学)	15:30～16:00
(6) コンクリート水槽類の 防水・防食技術の体系化に向けた取り組み		
1) コンクリート水槽類の 防水・防食技術検討小委員会の活動報告	松原 道彦 (竹中工務店)	16:00～17:30
2) 厨房排水槽の水質・腐食環境測定方法及び調査結果	甲本 周平 (大日化成)	
3) 防食材の性能評価に関する検討	中村 元気 (サユレック)	

※ 講師は変更となる場合があります。

第13回防水シンポジウム「建築防水分野における新たな取り組み」

定員・参加費・申込方法等：

会 場	建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）		
定 員	120 名（申込み先着順）		
参 加 費	会 員 3,000 円 会員外 4,400 円	学 生(会 員) 2,000 円 学生(会員外) 2,200 円	
申込方法	クレジット決済による WEB 事前申込み		
申 込 ペ ー ジ U R L	https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=720118 ※学生でお申し込みされる場合は、申込ページの通信欄に学校名を入力してください。		
申込締切	2026 年 11 月 9 日（月）17:00		
参加方法	PDF 参加券を印刷してご持参のうえ会場へお越しください		

参加申込みにあたっての注意事項：

- ・本催し物は、参加費事前払いによる申込制です。当日飛び入りでのご参加はできません。
- ・WEB 事前申込み時に発行される **PDF 参加券を印刷してご持参のうえ、会場受付にてご提出ください。**スマートフォン等の端末による参加券の画面提示はご遠慮ください。
- ・シンポジウムの資料は当日受付にてお渡しいたします。事前の発送は行っておりませんのでご了承ください。
- ・発表が一部、録画映像となる場合がございます。
- ・領収証が必要な方は、お申し込み後に送られてくる「お申込み受付完了通知メール」内の領収証ダウンロード用 URL から発行できます。なお、領収証の宛名は、申込ページの領収書宛名欄に入力された名称となり、申し込み完了後の宛名変更は出来かねますのご注意ください
- ・参加申込み後の払い戻しはできません。
（ご欠席された場合は、開催後資料をお送りいたします。）

お問合せ先：

- ・（一社）日本建築学会事務局 事業グループ 服部 TEL：03-3456-2057／E-Mail：hattori@aij.or.jp